

第89回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年8月3日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第89回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○政府現地対策本部

・7月29日に政府の震災復興基本方針が策定された。それに伴い引き続き県、市町村と連携を密にして対策を実施していきたい。

○小野寺危機管理監

・仮設住宅，要望戸数に対し，今回の第16次の525戸で100%となる。
9月中旬には全て入居可能となる。
・石巻市総合運動公園については市の要望により718戸全てが建設中止となった。
・死者数は9，275人，行方不明者は2，437人，避難者は前回より1，824人減少し8，895人である。

○今野総務部長

・寄付金総額は83億円となった。

○環境生活部

・水道放射線測定については，問題なしである。

○岡部保健福祉部長

・震災孤児は711人である。寄付金は742百万円である。ボランティア数は、3，000人弱である。義援金は205億円である。

○千葉農林水産部長

・漁港漁場の瓦礫について，サイドキャスター調査を実施し，7月末までに完了する。
・放射能測定結果について，最新の情報を本日発表する。麦も調査し基準を下回る状況である。

- ・稲わら供与の牛の出荷停止について、約6千戸に周知した。

○橋本土木部長

- ・被害額が1兆円を超えた。空港について、9月25日から仙台ソウル便が運行する。7月25日から1階と2階のターミナルビルを供用開始した。
- ・仮設住宅の必要戸数を精査したところ、約500戸減少した。286団地17,276戸が完成した。
- ・16次までで398団地, 22,054戸, 調整中はすべて着工に移行した。
- ・8月末まで206戸, 9月中旬まですべて完了する。女川町の二階建ての建設は遅れる。

○竹内警察本部長

- ・遺体について、9,368体収容し、1週間で9体収容した。引渡数は9,363体(99%)であり、遺族引渡が7,743体, 市町村が1,620体である。
- ・5月1日～7月31日に被災地のニーズ把握を実施し、石巻市で警戒警ら要望多く、次いで仮設住宅関連の行政ニーズが多い。害虫, 網戸, 貸し出し自転車など。

○海上保安庁

- ・東松島と気仙沼沖で2遺体を収容した。

○教育委員会

- ・避難先は1校減少した。女川町で死亡者を1名確認した。野外プール水質検査は、ほとんど未検出であった。

○伊藤企業局長

- ・工業用水では、不検出かあるいは微量である。

○村井災害対策本部長

- ・災害対策も長期化しており、職員の疲れも蓄積しつつあるとの報道があった。健康管理に十分配慮されたい。
- ・節電中とは言え、健康対策が大事である。
- ・次回は8月10日10時00分に開催する。